

# 加 佐

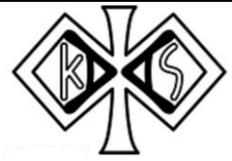
学校だより 11月号

令和6年11月1日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<https://kasa-maizuru.edumap.jp/>



## 学校の文化

文字通り「文化祭」は、文化的学習活動の発表の場として、合唱や総合的な学習の時間、各教科の作品をご覧くださいました。開会あいさつでは、「文化って何だろう?」と生徒に問いかけてスタートしました。「『文化』を説明する」なんて大人でも難しいですよ。皆さんが子どもに「文化って何?」って聞かれたら、どうやって教えましょうか。日本の文化、世界の食文化、歴史的文化財・・・など、うまく例を挙げながら。でもそれがすべてではないし。だんだんとぼんやりと「文化って、こういうことかな」とわかっていくものでしょうから。終わりのあいさつでは、「価値観」という言葉を強調しました。文化が形成されるときには、それに関わる人々の「これを大切にしたい、ここは守りたい」という価値観があるからこそなのだ。だから「歌を歌う」とか「絵をていねいに描く」とか、こだわったひとつひとつを加佐中学校の文化として、引き継いでほしいと話しました。

教職員は転勤すると、それぞれの学校の文化（というか風土といきましょうか）を肌で感じるものです。「清々しいあいさつができる」「しんどい練習にも前向き!」「友だちにやさしい言葉かけができる」など、その学校（の生徒たち）が大切にしているそれらが、生活に根付いていることを感じます。

では、そんな「学校の文化」は、どのように形成されるのか。教職員の「教育にたいする価値観」、保護者や地域社会の「子育てにたいする価値観」がじわじわと子どもに伝わり、学びとって、自分のものにしていきます。じわじわ・・・というのも、「価値観」っていちいち説明もしませんし、教えて伝わるものでもありません。ふれ合い（ときに衝突し）、議論して（ときにケンカっぽくもなったりして）相手の思いを読み取り、譲ったり、受け入れたり。そこに成功体験や感動が重なって、心にしみ込んでいくからです。我々（職員室）の価値観が、みなさんにじわじわと伝わるよう、日々の指導に努めます。

生徒が文化祭で成長した様子をたくさん見ることができました。そんな様子を一番近くで見られるのは、教員の喜びのひとつです。学校が「何を大切にするか?」は、こんな感動に支えられます。

11月も子どもたちの輝く場面がたくさん見られますように。 よろしくお祈りします。



## 11月21日(木)和太鼓コンサート にぜひ!



今期は「太鼓シリーズ」です。10月号「和太鼓の響き」でお知らせしました 民主音楽協会様の普及事業「学校コンサート」により「舞太鼓あすか組」さんをお迎えします。校区小学校の4・5・6年生を招待します。地域の皆様、保護者の皆様にも聞いていただきたいです。来校・参観 大歓迎です! 迫力ある演奏、和太鼓の響きを肌で感じ取ってください。

11月21日(木) 13:45開演(14:35終演) 加佐中学校体育館

舞鶴市立加佐中学校 校長 阪口靖敬 教職員一同